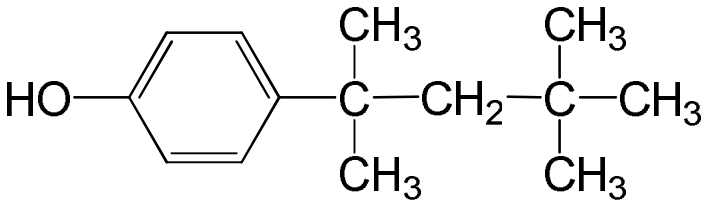


## 既存化学物質審査シート(人健康影響・生態影響)

(平成20年12月19日開催)

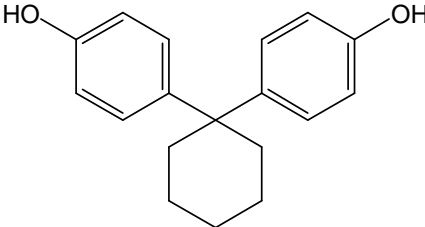
官報公示 整理番号	CAS No.	物質名称	判定案		頁
			人健康影響	生態影響	
3-503	140-66-9	<i>p</i> - <i>tert</i> - オクチルフェノール	二監相当	三監相当 [告示済み]	1
4-44	843-55-0	1,1 - ビス(4 - ヒドロキシフェニル) - シクロヘキサン		三監相当	3
3-2254	3194-55-6 25637-99-4	1,2,5,6,9,10 - ヘキサブロモシクロドデカン		三監相当	4

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	3-503	CAS No.	140-66-9
判定案	人健康影響 第二種監視化学物質相当 生態影響 第三種監視化学物質相当【平成 18 年 7 月 18 日告示済み】		
名称 構造式等	名 称 : <i>p</i> -tert-オクチルフェノール 		
用途	3 - 5 0 3 として中間物、合成樹脂、接着剤、添加剤（ゴム用、油用、紙用）洗剤等 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査（平成 1 6 年実績）		
外観	白色結晶状固体		
分解性	難分解性		
蓄積性	高濃縮性でない		
Ames	陰性 純度 97% . 溶媒（DMSO - 溶解）. プレート法 . TA98, TA100, TA1535, TA1537, WP2uvrA . 5000 µg/plate まで実施した用量設定試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施 . （本試験） - S9mix 群 : 50 µg/plate ( TA1535, TA1537 : 25 µg/plate 以上で菌の生育阻害 ) ( TA98, TA100 : 最高用量で菌の生育阻害 ) 2000 µg/plate ( WP2uvrA : 最高用量で菌の生育阻害 ) + S9mix 群 : 200 µg/plate ( TA98, TA100, TA1535, TA1537 : 最高用量で菌の生育阻害 ) 2000 µg/plate ( WP2uvrA ) （本試験） - S9mix 群 : 50 µg/plate ( TA1537 : 25 µg/plate 以上で菌の生育阻害 ) ( TA98, TA100, TA1535 : 最高用量で菌の生育阻害 ) 2000 µg/plate ( WP2uvrA : 最高用量で菌の生育阻害 ) + S9mix 群 : 200 µg/plate ( TA1537 : 100 µg/plate 以上で菌の生育阻害 ) ( TA98, TA100, TA1535 : 最高用量で菌の生育阻害 ) 2000 µg/plate ( WP2uvrA : 最高用量で菌の生育阻害 )		
染色体 異常	陰性 純度 97% . 溶媒（DMSO - 溶解）. CHL/IU . 0.1mg/mL まで実施した細胞増殖抑制試験の結果を参考に、以下の濃度まで実施 . - S9mix 群 : 0.005mg/mL（細胞毒性のため、0.0025mg/mL まで観察） + S9mix 群 : 0.04mg/mL 24 時間処理群 ; 0.016mg/mL（細胞毒性のため、0.008mg/mL まで観察） 48 時間処理群 : 0.016mg/mL（細胞毒性のため、0.008mg/mL まで観察）		
28 日間 反復投与	投与方法	強制経口投与 溶媒 : オリブ油	
	純度	98.24%	
	用量	3 用量(15, 70, 300 mg/kg/day)	
	死亡	予備試験 ( 500 : 1/2、1000 : 1/2、1000 : 2/2 )	
	NOEL	15 mg/kg/day	
推定根拠	一般状態（流涎 : 70 以上） 血液生化学的検査(A/G : 70 以上）		

	他の毒性	体重 ( 300 ) 摂水量 ( 300 ) 一般状態 ( 自発運動量 : 300 ) 血液生化学的検査 ( Na : 300 、 Alb : 300 、 BUN ・ Cho ・ TG : 300 ) 尿検査 ( 尿比重 ・ 尿量 ・ Na ・ Cl : 300 ) 相対重量 ( 腎 : 300 、 肝 : 300 ) 組織学的所見 ( 腎 - 尿細管再生像 : 300 )
	回復性	問題なし
人健康影響判定根拠	Ames 試験及び染色体異常試験は陰性であるが、NOEL 15mg/kg/day であることから第二種監視化学物質相当。	
備考		

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	4-44	CAS No.	843-55-0
判定案	生態影響 第三種監視化学物質相当		
名称 構造式等	名称：1,1-ビス(4-ヒドロキシフェニル)-シクロヘキサン 		
用途	-		
外観	白色粉末		
分解性	難分解性		
蓄積性	高濃縮性でない		
藻類生長 阻害試験	生物種： <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i> 試験法：化審法 TG 培養方式：振とう培養 純度：100% 試験濃度：設定濃度 0.24、0.51、1.1、2.3、4.8* mg/L *調製可能最高濃度 実測濃度 0.21、0.45、0.92、2.0、3.6 mg/L (時間加重平均値) 助剤：DMF 95 µL/L 72hEC50 (実測値に基づく) > 3.6 mg/L 72hNOEC (実測値に基づく) = 0.92 mg/L		
ミジンコ 急性遊泳 阻害試験	生物種：オオミジンコ <i>Daphnia magna</i> 試験法：化審法 TG 試験方式：半止水式、24 時間後に換水 純度：100% 試験濃度：設定濃度 0.47、0.84、1.5、2.6、4.7 mg/L 実測濃度 0.45、0.82、1.5、2.5、4.6 mg/L (時間加重平均値) 助剤：DMF 95 µL/L 48hEC50 (実測値に基づく) = 1.8 mg/L		
魚類急性 毒性試験	生物種：ヒメダカ <i>Oryzias latipes</i> 試験法：化審法 TG 試験方式：半止水式、24 時間毎に換水 純度：100% 試験濃度：設定濃度 0.48、0.85、1.5、2.7、4.8 mg/L 実測濃度 0.42、0.75、1.3、2.5、4.3 mg/L (時間加重平均値) 助剤：DMF 95 µL/L 96hLC50 (実測値に基づく) = 1.8 mg/L		
生態影響 判定根拠	藻類生長阻害試験において 72hEC50>3.6mg/L、72hNOEC=0.92mg/L、ミジンコ急性遊泳阻害試験において 48hEC50=1.8mg/L であるが、魚類急性毒性試験において 96hLC50=1.8mg/L であることから第三種監視化学物質相当。		
備考	試験用水溶解度： 藻類培地：4.8 mg/L、Elendt M4 medium：4.7 mg/L、脱塩素水道水：4.8 mg/L		

既存化学物質審査シート

官報公示 整理番号	3-2254	CAS No.	3194-55-6 25637-99-4		
判定案	生態影響 第三種監視化学物質相当				
名称 構造式等	名称：1, 2, 5, 6, 9, 10 - ヘキサブプロモシクロドデカン 				
用途	発泡ポリスチレン用の難燃剤、繊維用の難燃剤 平成 20 年 3 月 26 日開催 化学物質審議会安全対策部会安全対策小委員会資料				
外観	無臭白色固体				
分解性	難分解性				
蓄積性	高濃縮性				
生態毒性 情報	[ SIAP ( OECD/HPV プログラム ) より引用 ] 藻類に対する毒性値として ・ <i>Skeletonema costatum</i> 72hEC50= 0.052 mg/L ミジンコに対する毒性として ・ <i>Daphnia magna</i> 48hEC50> 0.0032 mg/L ・ <i>Daphnia magna</i> 21dNOEC ( 成長、死亡 ) = 0.0031 mg/L 21dNOEC ( 繁殖 ) = 0.0056 mg/L 魚類に対する毒性として ・ <i>Oncorhynchus mykiss</i> 96hLC50> 0.0025 mg/L ・ <i>Oncorhynchus mykiss</i> NOEC ( ふ化成功率、ふ化時間、浮上時間、成長、死亡 ) 0.0037 mg/L 化審法テストガイドラインの推奨種を用いた試験結果ではないが、SIAP において最も信頼性のあるデータと評価されている。				
生態影響 判定根拠	ミジンコ急性遊泳阻害試験、魚類急性毒性試験及び魚類初期生活段階毒性試験において溶解限度で影響が認められないが、藻類生長阻害試験において 72hEC50=0.052 mg/L、ミジンコ繁殖阻害試験において 21dNOEC ( 繁殖 ) =0.0056 mg/L であることから、第三種監視化学物質相当。				
環境調査	媒体	実施年度	検体	検出範囲	検出下限値
1	水質	H15	0/60		0.087(µg/L)
	底質	H15	3/45	0.085 ~ 0.14	0.023(µg/g-dry)
	魚類	H16	3/18	0.043 ~ 0.077	0.0071 ( µg/g-wet )
備考	1 H16、H17 版「化学物質と環境」( 環境省環境保健部環境安全課 ) 対水溶解度 ( 20 ) : 0.066 mg/L ( sum of -, - and -HBCDD ) 0.049 mg/L ( -HBCDD ) 0.015 mg/L ( -HBCDD ) 0.002 mg/L ( -HBCDD ) 出典 : MacGregor and Nixon, 2004				